なかはら 歴史と緑の散策マップ

奉先の多摩川を光りながら河上する鮎がいいよね

二ヶ領用水の住吉・今井の桜並木は格別だね

中原街道の歴史の奥深さかな

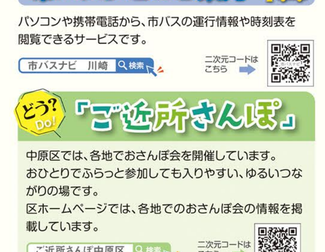
中丸子緑道の四季折々に咲く花が愉しみよね

江川のせせらぎは毎日でも散歩したいよね

そうそう、暑い時期に一面に咲くバンジーも

すばらしくきれいだね

それって全部、なかはら にあるんじゃない？



多摩川対岸から見た中原区

渋川の桜

CC BY 4.0 by 川崎市

歴史・自然・文化そして人のいとなみ
今まで通り過ぎていたあの場所に
気付かなかった中原区の魅力が隠れている

発行年月 2025年3月

1 歴史の道探訪 中原街道コース

全長 4.2km 時間 52分

JR武蔵中原駅 ⇔(240m 3分)⇔ 地蔵尊 ⇔(450m 7分)⇔ 旧中原村役場跡 ⇔(140m 2分)⇔ 泉澤寺 ⇔(50m 1分)⇔ 二ヶ領用水 ⇔(50m 1分)⇔ 小杉十字路 ⇔(110m 2分)⇔ 油屋の庚申塔 ⇔(220m 3分)⇔ つげ櫛屋の供養塔 ⇔(90m 2分)⇔ カギの道 ⇔(250m 3分)⇔ 西明寺 ⇔(250m 3分)⇔ 御主殿稲荷 ⇔(280m 4分)⇔ 石橋醤油店 ⇔(170m 2分)⇔ 旧原家住宅表門(国登録有形文化財) ⇔(30m 1分)⇔ 安藤家長屋門(市重要歴史記念物) ⇔(480m 7分)⇔ 中原街道 ⇔(320m 5分)⇔ 松原青木根集落跡 ⇔(140m 2分)⇔ 丸子の渡し跡 ⇔(980m 12分)⇔ 東急新丸子駅

江戸と平塚の中原を結ぶ道は中原街道と呼ばれました。また相模を通るので「相州街道」、平塚で造られた酢が江戸城へ運ばれたので「お酢街道」などとも呼ばれました。やがて東海道が整備され、大名行列が東海道を通るようになると、中原街道は脇往還となり、以前の賑わいを失っていきました。しかし中原街道は沿線の物資や農作物の輸送などに欠かせない大切な道として、その後も人々の生活に深い関わりを持ち続けてきました。今も街道沿いには旧家や古くからの地名、商家、石仏、石碑などが残り、街道沿いで織り成されてきた歴史を偲ぶことができます。（川崎歴史ガイドより）

コースの説明

丸子の渡し跡と松原・青木根集落跡(MAP E,F-2)

中原街道を通る人々にとって、昭和10年に丸子橋が完成するまでは渡し船が川を渡る唯一の交通機関でした。数多くあった多摩川の渡しの一つでした。渡し場の近くに松原・青木根集落がありましたが大正9年の築堤で姿を消しました。

丸子の渡しの再現イベント

西明寺(MAP D-2)

西明寺は、有馬にあったものが室町時代の始めに現在の場所に移されたと伝えられています。中興の祖北条時頼にまつわる伝説があり、これにちなむ弁才天が出世弁天として境内に祭られています。小杉学舎はここの本堂を借りて始められています。

西明寺

泉澤寺(MAP D-3)

泉澤寺は、領主吉良氏の菩提寺として世田谷の烏山にあったものが焼失したため、室町時代末に中原の現在地に再建されました。吉良氏は税を免除して居住を促し、門前市を開いてこの地の繁栄を図りました。

泉澤寺

小杉御殿跡

小杉御殿跡(MAP D-2)

家康が平塚の中原に建てた中原御殿に倣い、二代将軍秀忠が建てた小杉御殿は、家康、秀忠、家光の送迎や鷹狩の際の休憩や宿泊などに使われました。後に東海道が主街道になると廃止されました。御殿はおよそ1万2千坪（4万平方メートル）の広さに及び、表御門・御主殿・御殿番屋敷・御蔵・御馬屋敷・裏御門などが建ち並んでいました。

カギの道(MAP D-2)

カギ型の道筋は御殿の防衛の重要な役目を果たすもので、現在もその形を残しています。

石造物群(MAP C-3)

旧中原村役場跡前から武蔵中原駅までの間には祠が多く見られます。庚申塔・地蔵尊・水天宮などがあり、供物や献花が絶えません。門前市が栄えた往時の民衆の信仰が、今も脈々と続いている証です。

地蔵尊

2 水辺と緑の散策 二ヶ領用水・渋川コース

全長 5.8km 時間 75分(二ヶ領用水コース)
全長 7.1km 時間 91分(渋川コース)

JR武蔵新城駅 ⇔(200m 3分)⇔ 竹橋 ⇔(200m 3分)⇔ 大ケ谷戸橋 ⇔(730m 10分)⇔ 上家内橋 ⇔(400m 6分)⇔ 薬師橋 ⇔(370m 5分)⇔ 白田橋 ⇔(370m 5分)⇔ 神地橋 ⇔(430m 6分)⇔ 松尾橋 ⇔(130m 2分)⇔ 山王橋 ⇔(130m 2分)⇔ 今井上橋 ⇔(80m 1分)⇔ 小杉町一号橋

上段：二ヶ領用水コース

今市橋 ⇔(200m 3分)⇔ 今井橋 ⇔(150m 2分)⇔ 和合橋 ⇔(200m 3分)⇔ 平和公園 ⇔(200m 3分)⇔ 関東労災病院前 ⇔(150m 2分)⇔ 住吉神社 ⇔(200m 3分)⇔ 東急元住吉駅

桜橋 ⇔(150m 2分)⇔ 住吉橋 ⇔(150m 2分)⇔ 新川橋 ⇔(160m 2分)⇔ 祇園橋 ⇔(230m 3分)⇔ 住吉神社脇通り ⇔(410m 5分)⇔ 稲荷橋 ⇔(190m 3分)⇔ 稲荷橋 ⇔(160m 2分)⇔ 子ノ神橋 ⇔(200m 3分)⇔ 八幡橋 ⇔(290m 4分)⇔ 持田橋 ⇔(300m 4分)⇔ 東急元住吉駅

下段：渋川コース

酔芙蓉

豊かな緑と水の散歩道、二ヶ領用水は、春には川沿いに桃の花が美しく咲き始め、満開の住吉桜が水面を染める頃には多くの人がその風情を楽しみに訪れます。かるがもの里としても知られ、ザリガニやアメンボ、大きな鯉も遊ぶ、憩いの散策コースです。

コースの説明

二ヶ領用水(MAP B-1～F-6)

徳川家康から治水と新田開発の命を受けた小泉次大夫が、14年をかけ慶長16（1611）年に農業用水として開削した県下で最も古い用水です。総延長32キロにわたる二ヶ領の名は、川崎領と稲毛領にまたがっていたことに由来します。

二ヶ領用水

二ヶ領用水の桜

渋川(MAP D-3～E-6)

渋川は川崎堀から分流する2.4キロの用水路です。川沿いには約250本の桜並木が続き、「住吉桜」として親しまれています。江戸時代末期には、いくつかの水車が廻り、精米・製粉などが行われていました。

渋川

今井上町緑道(MAP D-3)

今井上町緑道は、桜のシーズンはとても気持ちの良い散策路です。松尾橋から山王橋までは緑道の下段に二ヶ領用水の流れに沿って遊歩道が整備され、ベンチもあって親水ゾーンとなっています。笹舟などを浮かべながらそぞろ歩いてみてはいかがですか。

県住吉小学校隣 二ヶ領用水沿いのテナアオイ

中原平和公園(MAP E-5)

米軍出版センター跡地が全面返還されたのを機に恒久の平和を願って整備された公園で、平和記念像、川崎市平和館、野外音楽堂などがあります。桜の名所として大勢の人が花見に訪れ、夏には流れる水の広場で子どもたちが遊び、また、1年を通して区民のみなさんがジョギングなどを楽しんでいます。

中原平和公園

3 多摩川散策と等々力緑地コース

全長 6.6km 時間 84分

JR平間駅 ⇔(650m 9分)⇔ ガス橋 ⇔(2740m 34分)⇔ 丸子橋 ⇔(680m 9分)⇔ 調布取水堰 ⇔(1600m 20分)⇔ 等々力魚濠川ととどろき水辺の楽校 ⇔(1020m 13分)⇔ 等々力緑地入口 ⇔(330m 4分)⇔ 等々力グランド入口 ⇔(370m 5分)⇔ とどろきアリーナ ⇔(420m 5分)⇔ 等々力緑地 ⇔(430m 5分)⇔ 等々力グランド入口

多摩川ののどかな自然環境を楽しむ一方で、かつてのあばれ多摩川の足跡も見られ、多摩川という自然環境の両面を偲ぶことができます。コース沿いには歴史、文化遺産も数多くあります。

コースの説明

多摩川(MAP C-1～H-6)

山梨・埼玉県境の笠取山に源を発する多摩川は、川崎市域では流路延長138kmのうち約31kmを占めています。その中で中原区に接する流域は約6kmあります。多摩川の水と緑は川崎市の自然、産業、歴史、文化に深い係わりを持ち、まさに川崎市の「母なる川」と言えます。かつては氾濫を繰り返した歴史をもち、川筋は蛇行し、人々の生活を脅かす暴れ川でした。川の両岸の東京都と川崎市（中原区）には同じ地名である、等々力、沼部、丸子が残っています。現在河川敷は広域避難場所に指定されており、公園緑地、サイクリングコース、運動施設等に利用され、区民に身近な自然環境空間として憩いの場となっています。

多摩川

緑地

等々力緑地(MAP D-2)

43万5914平方メートルの広さと豊かな緑に覆われた、中原区が誇る公園です。敷地の大部分が多摩川の旧河川敷に位置します。園内にはサッカーJリーグ川崎フロンターレの本拠地である等々力陸上競技場、県内最大級の規模を誇る等々力球場、バスケットボールBリーグ川崎ブレイブサンダーズのホームアリーナでもあるとどろきアリーナ等の運動施設があります。また、ふるさとの森、花の散歩道、フィッシングコーナー等があります。

野球場

等々力魚濠(ぎょらん)川ととどろき水辺の楽校(MAP D-2)

等々力緑地先の河川敷内水川から分流している小さな水路が魚濠川です。魚濠川では多摩川の自然環境が復元され、魚類等の生息繁殖を見ることができます。水辺の楽校はこの魚濠川と周辺の中州をフィールドに、自然の生態系を観察し体験することができる川の楽校で、川遊びなどの行事が毎月開催されています。

とどろき水辺の楽校

リバービオコリドー(河川敷生態系回廊)(MAP F-2)

多摩川の生き物が生息しやすい環境をつくっているのがリバービオコリドーです。グラウンドなど人工的な場所が続く河川敷では、木立や緑が少ないため自然の生き物が生息しにくい環境です。こうした問題を解決するためにもともと多摩川にあったオニグルミ、タチヤナギなどの樹木や、ヨシ、オギなどの草本を散策路の脇に植え、連続した緑地帯をつくっています。木陰や茂みは生物が生息しやすい環境となり、落ち葉が底生動物の生息場所になる等の様々な効果が生まれ、多摩川の生態系が蘇ってきています。

調布取水堰

調布取水堰(MAP F-2)

調布取水堰は、多摩川に9つある堰のうち最も下流に位置しており、現在は東京都が工業用水として取水しています。防潮堰の役割も果たし、魚道も設置されています。春先にはアユが大量に水しぶきを上げて遡上する姿が見られるまでになりました。

中原区の概要

プロフィール

中原区は川崎市のほぼ中央に位置し、その名称は、江戸時代に中原御殿（平塚市）と江戸を結ぶ中原街道の中継地として栄えたことに由来しています。武蔵小杉駅を中心に先端企業が集積する一方、下小田中地区は県下でも有数の品質を誇るパンジーの生産で知られています。また、等々力緑地には、等々力陸上競技場やとどろきアリーナ、釣り池などの文化スポーツ施設が揃い、市民の憩いの場となっています。武蔵小杉駅周辺では再開発による新しいまちづくりを推進しており、区では、水と緑の自然を活かした暮らしやすく潤いのあるまちづくりを進めています。

人口・世帯数 面積

141,504世帯　人口：267,827（男：135,198　女：132,629）
14.81平方キロメートル（令和7年2月1日現在）

シンボルマーク

区制20周年の記念に制定
「中」の字をベースに心のふれあうまちを願い、人と産業、人と文化、さらに伝統文化と最先端技術の調和を表現しています。また中央の丸は、中原区が市の地理的中心であることを表し、上下に伸びる縦軸は未来に発展する中原区の姿を象徴しています。

区のシンボルマーク

区の木 モモ

中原の地は大正から昭和にかけて全国でも有数の桃の生産地で、南武線の車窓からの眺めは美しく「桃源郷を行くようだ」と言われるほどでした。昭和60年頃から、二ヶ領用水に清流を取り戻し、「むかし中原は桃の里」であったことを後世に伝えたいとの願いをこめて地元の皆さんが11種類の花桃の木を植樹し育てています。

区の花 パンジー

中原区では平成10年に区制25年を記念して、区民のみなさんの投票により「パンジー」を区の花に制定しました。県内でも有数の生産量を誇る下小田中地区のパンジーは、品質面で高い評価を受けており、かながわブランドやかわさき農産物ブランドの「かわさきそだち」にも認定されています。同地区の生産農家では、11月から12月にかけて直接地面を掘って花を摘む「地掘り」という体験型直売を行うところもあります。

市バスナビのご案内

パソコンや携帯電話から、市バスの運行情報や時刻表を閲覧できるサービスです。

市バスナビ　川崎 検索　二次元コードはこちら

どう？Do!「ご近所さんぽ」

中原区では、各地でおさんぽ会を開催しています。おひとりでふらっと参加しても入りやすい、ゆるいつながりの場です。
区ホームページでは、各地でのおさんぽ会の情報を掲載しています。

ご近所さんぽ中原区 検索　二次元コードはこちら

問合せ先:中原区役所地域ケア推進課
044-744-3239

災害への備え

中原区の防災情報を一冊にまとめた「中原備える防災マップ」を見ながら、いつもの道を歩いてみませんか？落下物やさいブロック塀など、実は危険な道に気づくこともあるかもしれません。在宅避難のための備蓄品もぜひご確認を。

※中原区役所ほか区内施設、イベント等で配布中です。

中原備える防災マップ 検索　二次元コードはこちら

問合せ先:中原区役所危機管理担当
044-744-3141

4 中丸子・緑道をつなぐ花と緑の散策コース

全長 4.6km 時間 58分

JR武蔵小杉駅 ⇔(280m 3分)⇔ JR横須賀線向河原駅 ⇔(290m 3分)⇔ 向河原駅前広場公園 ⇔(20m 1分)⇔ JR南武線向河原駅 ⇔(170m 2分)⇔ 下沼部小学校 ⇔(270m 3分)⇔ 中丸子緑道入口 ⇔(420m 5分)⇔ 中丸子公園 ⇔(80m 1分)⇔ 無量寺 ⇔(190m 2分)⇔ 神明大神 ⇔(560m 7分)⇔ 中丸子緑道出口 ⇔(170m 2分)⇔ 中丸子南緑道 ⇔(330m 4分)⇔ 北谷町緑道 ⇔(290m 3分)⇔ 中丸子緑道 ⇔(460m 6分)⇔ 市ノ坪緑道 ⇔(1120m 15分)⇔ 銚子塚 ⇔(100m 1分)⇔ JR平間駅

中丸子地区周辺の緑道を散策するコースです。廃線路敷と水田の用水路・堀を暗渠にし整備した緑道で全長は約3kmあります。
桜・ケヤキ・ヤブニッケイ・ハナミズキ・サツキなどの高木や低木、アジサイやワスレナグサなど四季折々の花が美しく咲く花壇があり、子供からお年寄りまで季節を通じて樹木や草花を楽しむことができます。コース中には日枝神社・大楽院があり、市の指定樹林や歴史に触れることができます。

コースの説明

神明大神(MAP F-4)

神明大神は、羽黒権現として明暦2（1656）年に建立し、明治に神明大神となりました。新年の祭事「おびしゃ」では、鶴で「雄シメ」「雌シメ」という一対の大きなしめ縄を作り、神社に奉納します。

神明大神のおびしゃ

市ノ坪緑道(MAP F-4)

貨物線路の跡を緑道とした所で、高木のヤブニッケイ・低木のサツキなど数多くの樹木がある公園です。水飲み場・ベンチがあり、夏から秋にかけて響きわたる蝉の声が印象的です。

市ノ坪緑道

中丸子南緑道(MAP F-5)

渋川を暗渠にした緑道です。地域の人達の努力で一年中花の絶えない公園となり、初夏に群れ咲くアジサイも見事です。玉川小学校の児童達による壁の絵も楽しい、やすらぎの場所です。

ワスレナグサの咲き揃う中丸子南緑道

中丸子緑道(MAP F-4～5)

中丸子堀（新堀）を暗渠にしてつくられた緑道です。新緑の季節には鮮やかなヤマブキの花、続いてツツジの一群が色を添え、ハナミズキも優美な花を空に向け、緑道を彩ります。昔大きな水車がありましたが、関東大震災で焼失しました。

中丸子公園(MAP F-5)

地域の方々の手入れで季節の美しい花壇が続き、充実した遊具や開放的な広場を備えた1年中子ども達の笑顔があふれる公園です。園内には有吉堤竣工100年を記念した石碑と解説版が設置されています。

有吉堤竣工百年の碑

有吉堤(MAP G-5)

明治40年、43年、大正2年、3年と引き続いて起こった多摩川大洪水の被害に泣いた住民たちがアミガサを力ぶって決起し、築堤要求をしたためがアミガサ事件でした。これにより「都道改修工事の名目」で堤防が造られ、住民も喜んでこの仕事に参加しました。完成した堤防は当時の県知事の名をとって「有吉堤」と呼ばれました。またこの堤防により中丸子の渡しや中州の耕作地は姿を消しました。

有吉堤

5 江川せせらぎ遊歩道と市民健康の森散策コース

全長3.4km時間43分

JR武蔵新城駅 ⇔(430m 5分)⇔ 湧水の小径 ⇔(90m 1分)⇔ 桜のプロムナード ⇔(580m 7分)⇔ 散策の道 ⇔(350m 5分)⇔ ふれあい広場 ⇔(460m 6分)⇔ せせらぎの広場 ⇔(150m 2分)⇔ 清流の道 ⇔(440m 5分)⇔ あずの道 ⇔(230m 3分)⇔ 河原の道 ⇔(100m 1分)⇔ 矢上川 ⇔(610m 8分)⇔ 井田山

江川せせらぎ遊歩道

新城駅と井田山を結ぶ「江川せせらぎ遊歩道」をたどるコースです。地域住民が維持管理しており、そんな人々との出会いもあります。また、せせらぎの地下には雨水の貯留管があり、付近を集中豪雨から守る役割をはたしています。

コースの説明

区の花パンジーとシクラメン(MAP C-4)

東京近郊の地の利を活かし、上・下小田中を中心に花卉栽培が行われています。この散歩コースは、JR南武線の下小田中駅から二ヶ領用水沿いの下小田中に一歩足を延ばせば、11月～1月には赤・黄・青・ピンクと色とりどりのパンジー畑や温室のシクラメンが見る人の心を癒してくれます。地掘や直売を楽しむこともできます。

パンジー農家

井田山・中原区市民健康の森(MAP C-5)

井田病院に隣接した井田山は、小原区内に残る数少ない里山的風景を楽しめるこんもりとした雑木林です。地域の人たちの力で開発から守られ、2001年から市民健康の森として整備されています。今では、2つの池もあり、小魚が泳ぎ、トンボも姿を見せます。池の水は渋川と同様、矢上川に注ぎます。夏には賑やかなセミの声も聞こえ、秋の落葉の鮮やかな紅葉も見事です。

井田山

安楽寺(MAP C-3)

室町時代の天文初期建立の安楽寺は、明治18年宗澤文山和尚の代に15～25歳を対象とした中等教育の「私立時習学校」を創りました。昭和18年に廃校となりましたが、中原村はもちろん、東京・群馬・福井などから留学し、学んだ卒業生は3500余人を数えます。

安楽寺

江川せせらぎ遊歩道(MAP B2～C-5)

江川は矢上川の支流で中原区と高津区の区境を流れており、2003年には地域の人々と川崎市の取り組みで、素敵なせせらぎが流れる遊歩道が開設され、朝夕には散歩やジョギングをする人々が集う憩いの場所になりました。コイやウナガが泳ぎ、カルガモ、サギも訪れ、夏にはザリガニ釣りで賑わいます。秋には「森とせせらぎ祭り」が町会や学校の協力で盛大に開催されています。

6 七福神めぐり

全長 10.8km 時間 135分

JR武蔵新城駅 ⇔(450m 6分)⇔ 安養寺 ⇔(350m 5分)⇔ 宝蔵寺 ⇔(1000m 13分)⇔ 東樹院 ⇔(1600m 20分)⇔ 西明寺 ⇔(1600m 20分)⇔ 大楽院 ⇔(1600m 20分)⇔ 無量寺 ⇔(3200m 40分)⇔ 大楽寺 ⇔(1000m 13分)⇔ 東急元住吉駅

江川せせらぎ遊歩道

中原区内各寺院に安置されている七福神を、元日より七日までの松の内に参拝し一年の幸福を願う行事で、1983（昭和58）年から始まりました。その地域の歴史と文化の歩みを探り、変わる風景を眺め、お参りを楽しみながら祈願すると、七福神の幸福が授かると言われています。また、正月二日の夜に宝船に乗った七福神の絵を枕の下に入れて寝ると、緑起の良い初夢が見られると言われています。

コースの説明

① 福禄寿の安養寺(MAP B-1)

安養寺の本堂は、ユニークで近代的なコンクリート造りになっています。これは関東大震災の被害の後、仮堂だったものが生まれ変わったものです。安養寺の福禄寿も現代的です。春には桜の花で賑わいます。
（武蔵新城駅から徒歩3分）

福禄寿の安養寺

② 弁財天の宝蔵寺(MAP B-1)

歴史の重みを感じさせる山門に、素朴な本堂がよく似合います。宝蔵寺の本尊は、子育て地蔵菩薩です。
（武蔵新城駅から徒歩8分）

弁財天の宝蔵寺

③ 毘沙門天の東樹院(MAP C-1)

美しい庭がある東樹院の毘沙門天は、室町時代に、この地の豪族により記られたと伝えられています。現在は山門脇のお堂の中に、この地を見据えるように立っています。（武蔵小杉駅、バス停1番線、蔵前経由中原行き 蔵前下車徒歩1分）

毘沙門天の東樹院

④ 大黒天の西明寺(MAP D-2)

中原街道沿いにある、徳川家ゆかりのお寺です。ふくろの大黒天は一木造りで、木食観正の作と伝えられる江戸時代のものです。中興開山と伝えられる、北条時頼公の像が現存しています。（武蔵小杉駅から徒歩15分）

大黒天の西明寺

⑤ 恵比寿神の大楽院(MAP F-3)

大楽院は、牡丹で有名な奈良県長谷寺の直轄寺院です。新丸子駅東口商店街を抜け、まっすぐにつき當たると、水子供養の文字の入った赤い旗が出迎えてくれます。境内には新四国八十八ヶ所お砂路ゃ霊場があります。（新丸子駅から徒歩5分）

恵比寿神の大楽院

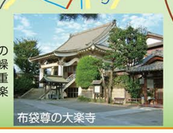
⑥ 寿老神の無量寺(MAP F-5)

山門前の掲示板には人生教訓の言葉が墨跡鮮やかに書かれ、境内では京都北山杉で造られた茶室風の腰掛けが迎えてくれます。初夏の蓮の花も美しく、秋には紅白の萩が揃って咲き誇ります。（平間駅から徒歩10分）

寿老神の長寿院無量寺

⑦ 布袋尊の大楽寺(MAP E-6)

真言宗智山派で開山は不明です。交通量の多い県道のすぐそばにありながら、その喧騒が嘘のように静かな境内です。大楽寺の三重塔は美しく、その前庭の境内は隣接する大楽幼稚園の園庭とも共用になっています。
（元住吉駅から徒歩13分）



布袋尊の大楽寺